

(当センター事務局が公表資料をもとに作成)

「2013(平成 25 年度)の温室効果ガス排出量(確報値)について」(要旨)

- △ 確報値とは、我が国の温室効果ガス排出・吸収目録として、気候変動枠組条約事務局に正式に提出する値です。
- △ 2013 年度の我が国の温室効果ガス総排出量は 14 億 800 万トン(※C02 換算)、前年度比で 1.2%増、1990 年度比で 10.8%増となりました。前年度比で増加した要因として、火力発電における石炭消費量増加、業務その他部門における電力・石油製品の消費量増加が挙げられます。また、排出量として、2007 年度 14 億 1,200 万トンに次ぐ多さでした。
※C02 換算：各温室効果ガス排出量に各ガスの地球温暖化係数を乗じ、合算した値です。地球温暖化係数は各ガスの温室効果をもたらす程度について、C02 の温室効果をもたらす程度に対する比で示した係数です。
- △ 温室効果ガス排出量の内訳を見ると、C02 が 13 億 1,100 万トン、93.1%を占め、特にエネルギー起源がガス全体の 87.7%を占めています。また、C02 排出量を部門別に見ると、1990 年度比で業務その他部門が 108%増、家庭部門が 53%増となったのに対し、産業部門は 15%減となりました。
- △ 一方、吸収源活動による吸収量は 6,100 万トン(森林吸収源対策 5,200 万トン、農地・牧草地管理、都市緑化活動 900 万トン)となりました。

以 上